

# 上野塚古墳(富津市)

うわのづか

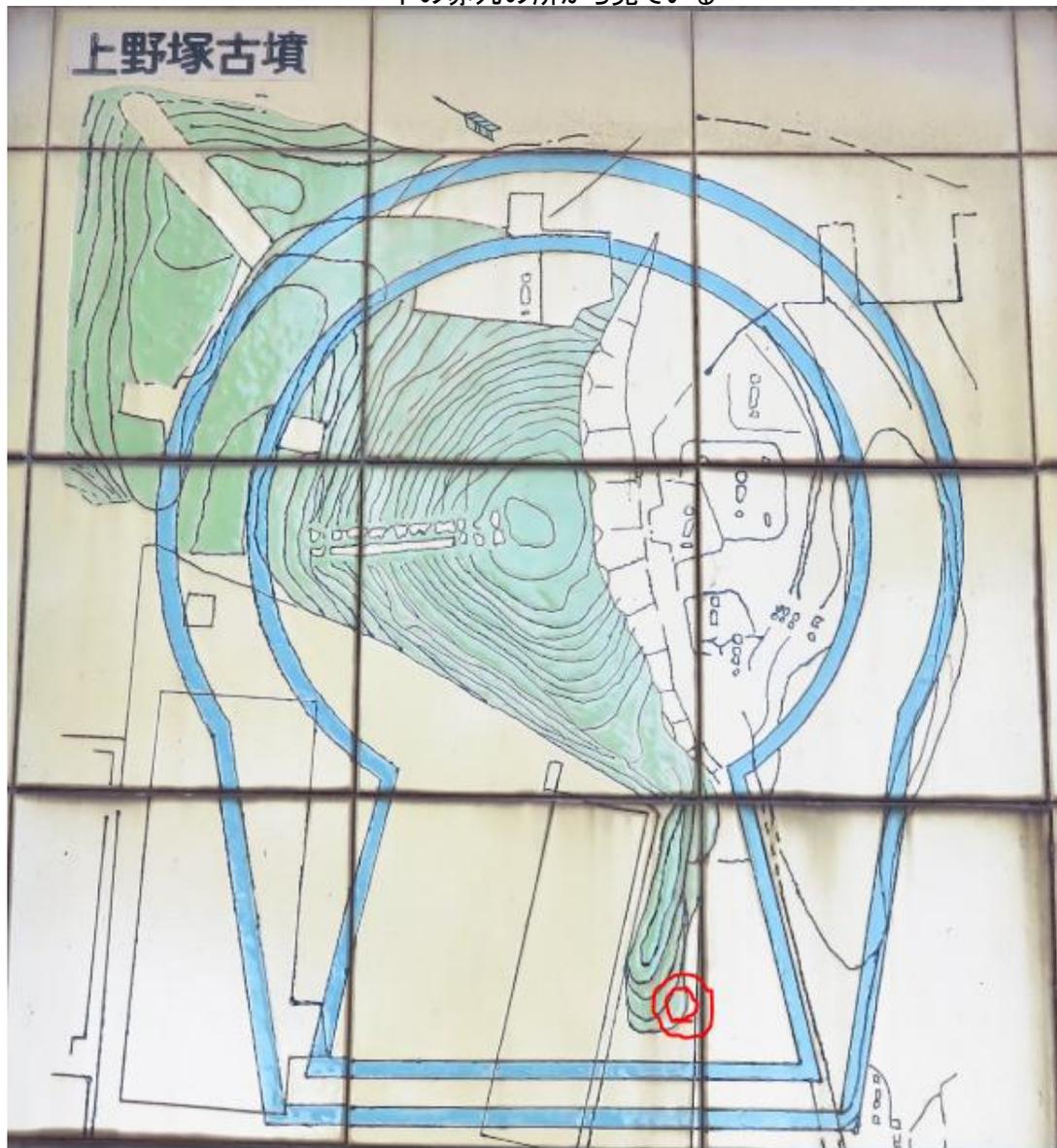
ここは青堀駅のロータリー/正面が帆立貝形前方後円墳である上野塚古墳/5世紀末頃の築造/南西側から見たところ



後円部の北側約2/3(奥)と前方部の一部(手前)のみしか残っていない



下の赤丸の所から見ている



コンクリートの擁壁に説明坂等が設置してある





富津市指定史跡 <sup>うわの</sup>上野塚古墳

千葉県富津市大堀字上野1888ほか

平成4年(1992)7月6日市指定史跡

規模：墳丘長44.5m・後円部径82m・前方部幅25m・後円部高5.0m・周溝全長55m

埋葬施設：未調査不明

出土遺物：須恵器すゑき坏蓋つぎふた・土師器はじきつき坏つぎ (周溝内)

出土品保管場所：富津市教育委員会

内房線青堀駅前に所在する上野塚古墳は、内裏塚古墳群の最北端、最も海岸線に近い位置にある古墳である。また古墳群中では最小規模の前方後円墳で、前方部が短く、周溝も前方部側へ向かって馬蹄形状に狭くなっていることから帆立貝形前方後円墳とも呼ばれる。現在は後円部の北側約2/3と前方部の一部のみが保存されている。

当古墳は駅前ロータリーの整備事業に伴って昭和56年(1981)・昭和62年(1987)に発掘調査が行われており、周溝内から出土した須恵器・土師器から古墳時代中期(5世紀末頃)の築造と推定される。当古墳群の中では内裏塚古墳に次いで2番目に古い古墳である。

また当古墳の墳丘下とその周辺には古墳時代前期の集落跡(上野遺跡)が存在しており、東海西部地方の土器(S字状口縁甕)などが検出されている。古墳時代において富津周辺は海上交通の要衝であり、当古墳は海上からも見えるランドマーク的な存在であったと考えられる。

平成20年10月31日 富津市教育委員会

上野塚古墳の墳形も記されている



稻荷山古墳



九条塚古墳



内裏塚古墳



こんな塩梅



左手に回り込んでも同様にある







こな塩梅



これは北側から後円部を見たところ



青堀駅の反対側には内裏塚古墳群の資料館があった





内裏塚 古墳群  
Utsunomiya Kofun Cluster



内裏塚古墳



内裏塚古墳



稲荷山古墳



三島塚古墳



高津碑と古墳群



三島塚古墳石室



西原古墳石室



別見塚古墳石室

内裏塚古墳群は小糸川流域の高長一族によって5世紀から7世紀にかけて造られた古墳群です。

富津市

内裏塚古墳群は5世紀～7世紀の間に、内裏塚古墳→弁天山古墳→上野塚古墳→九条塚古墳→稲荷山古墳→三条塚古墳→割見塚古墳の順に築造されたと云う



参考ホームページ

[http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/huttu\\_ueno/](http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/huttu_ueno/)

<http://www.haniwakan.com/kenkyu/boso/huttu.html>

<http://tokyo-bay.biz/pref-chiba/city-futtsu/ch0316/>

<http://massneko.hatenablog.com/entry/2014/04/02/075627>

<http://obito1.web.fc2.com/futtu.html>

